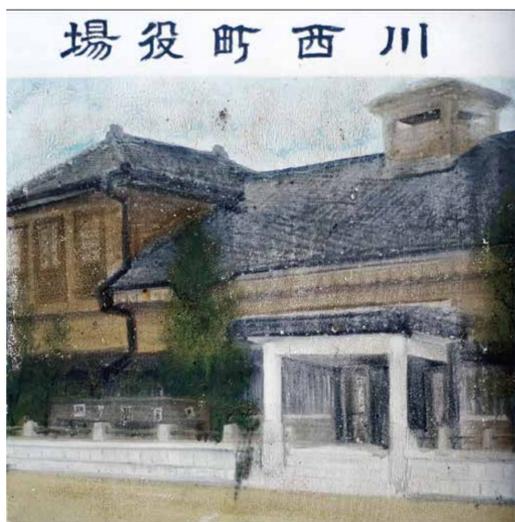


火打の八阪神社の巨大絵馬

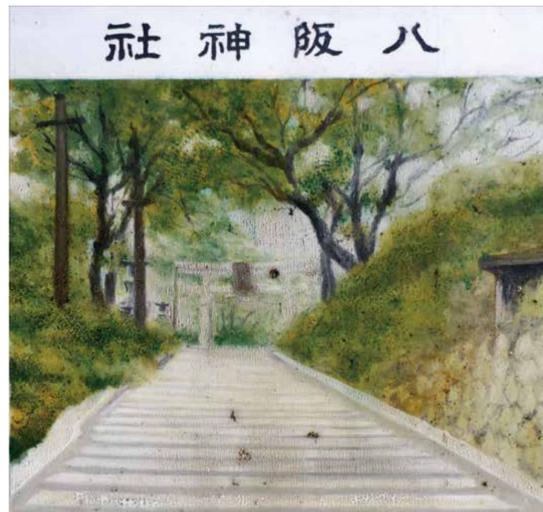


川西市火打 2 丁目にある八阪神社は延徳元年（1489）に創建された由緒ある神社です。本殿手前の一角に休憩所があり、その中に縦約 1.3 メートル、横約 1.9 メートルの大きな絵馬があり、川西町（当時）にあった著名な建築物 10 件が描かれています。この絵馬は火打地区の住民が建築に力を合わせた川西中学校の校舎が優秀であるとして文部大臣から表彰されたことを記念して、昭和 26 年 5 月に奉納されたものです。これらの建物の多くは当時の写真が残っていますがいずれもモノクロで、この絵馬によって実際の色彩が判明しました。

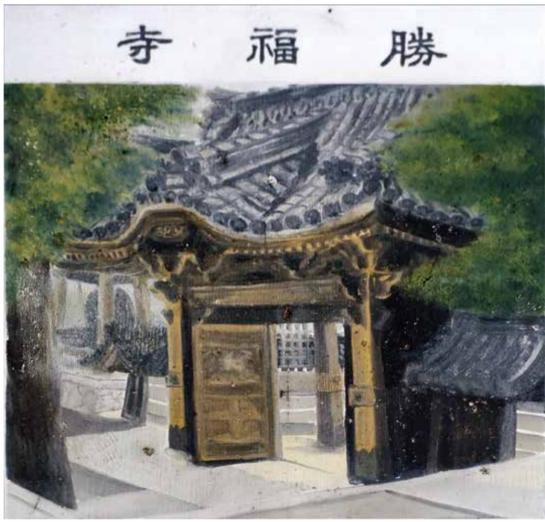


◀絵馬奉納の 3 年後の昭和 29 年 8 月に川西町は多田村・東谷村と合併して川西市となりました。小花 1 丁目（現在のパレットかわにし）にあった川西町役場がそのまま川西市役所（初代）となりました。

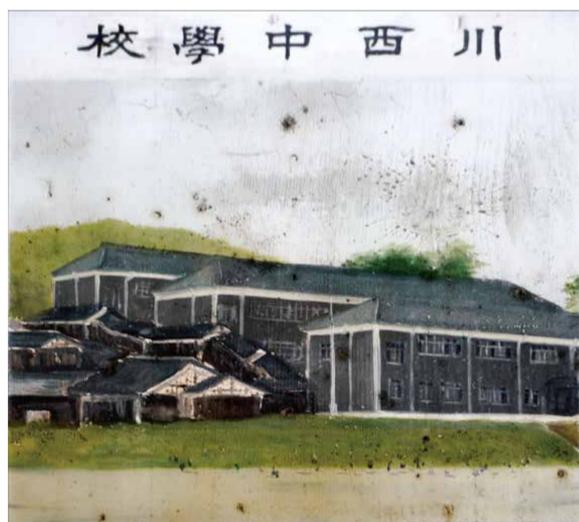
現在も当時のままに残っています。▶



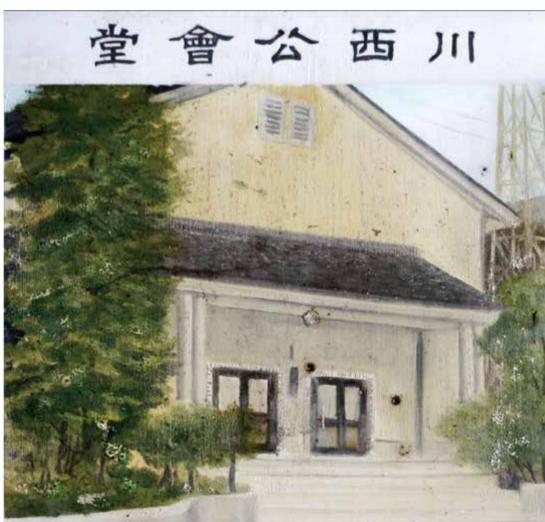
火打の八阪神社の巨大絵馬



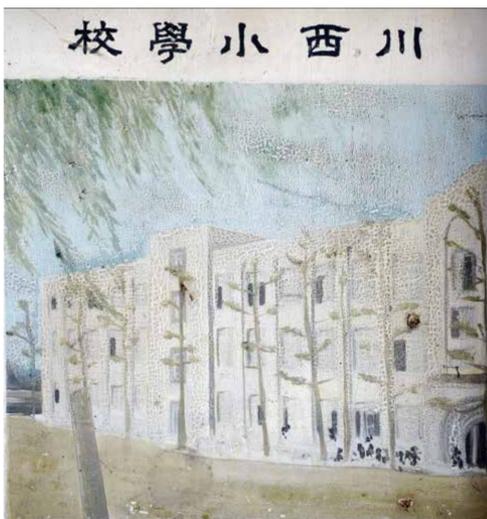
八阪神社の隣にある勝福寺です。



戦後の学制改革によって新制中学校が整備されることとなり、川西中学校は当初、川西小学校の校舎を間借りして開校しましたが、昭和 24（1949）年 4 月に現在の地に新校舎を建設し移転しました。地元の人々は建設用地に地区所有林を提供したり、建設の資金集めに回ったり、地ならし工事に汗を流したりして、中学校づくりに協力しました。

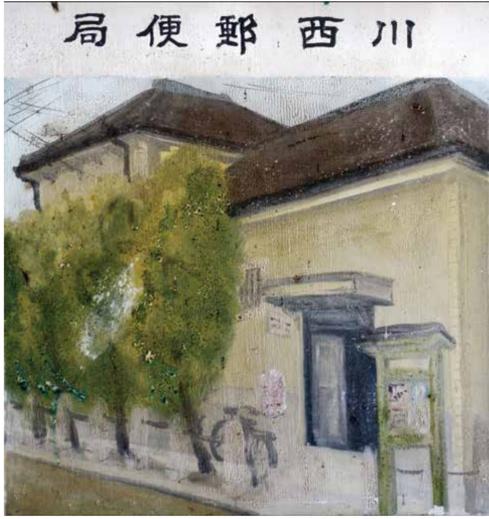


川西公会堂は国道（旧）176 号沿いの、川西町役場の並びにありました。現在、パレットかわにしが建っているところです。昭和 33（1958）年、旧川西市庁舎の西隣に、鳴尾ゴルフ倶楽部の旧クラブハウスの建物を譲り受けて市民会館が整備されたことで公会堂は廃止となり、跡地は川西中央市場となりました。



昭和 3（1928）年、川西小学校に当時としては最先端で斬新な鉄筋コンクリートの校舎が建設されました。戦争中には敵の空襲の目標となるのを避けるため、校舎は黒く塗りつぶされ、戦後もうっすら黒かったですが、絵馬では建築当初の姿と思われる白色で描かれています。校舎は平成 9（1997）年、新しい校舎を建設するために解体されました。

火打の八阪神社の巨大絵馬



開局式は七月四日
新築の川西郵便局

本年三月から千費五五〇万円内で完成を遂いでいました川西郵便局の新築事業はこの程完成、七月四日午前十時から関係者約一〇〇名を招いて開局の祝賀式を催しました。

新築の郵便局は、従来の郵便局から久代・伊丹に通じる道路を約三〇メートル南寄りの場所、木通一〇五・三九号です。川西に初めて郵便局が出来たのは明治四十二年三月で、現在の福知山線川西池田駅構内に池田駅前郵便局として存続していたのがその始末でした。

大正十四年川西郵便局と改称し

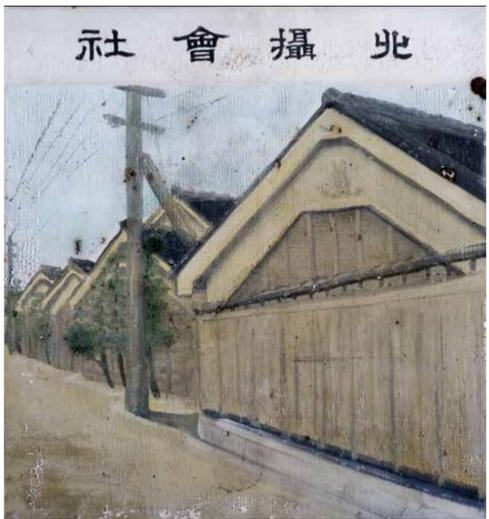
地区	小花一	会員数	41名
芝田	31名	池田	代

六月号あたりの体換の答上野七……七の字の上が出てない。だから、上の出ん(デン)……七。

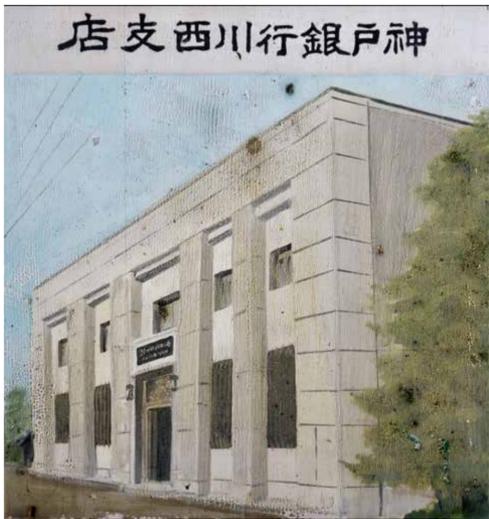
て以来もたびたび移転してきますが今まで市民になじまれています。昭和十一年五月に建設された局は、昭和十一年五月に建設以後十数年間の役目を果たしていたものでした。

写真：新築完成した川西郵便局

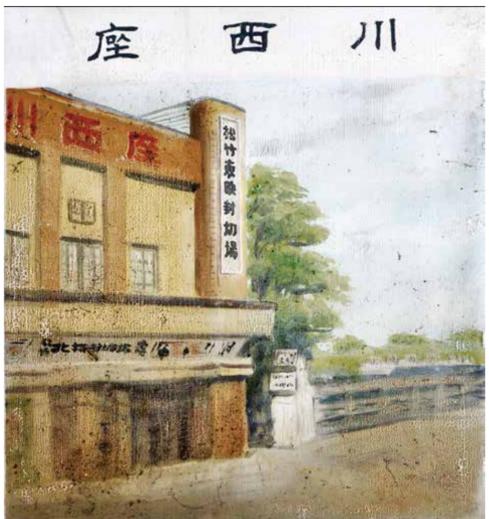
絵馬が奉納された6年後(S32)に発行された『市勢要覧 1957』では、川西郵便局の所在地が「小花字今辻5-1」となっており、国道176号と県道尼崎池田線が交差する今辻交差点の南東角（現在「ローソン川西小花1丁目店」）でした。翌昭和33（1958）年7月5日発行の『広報かわにし』第45号には、川西郵便局が新築された記事が載っていて、「新築の郵便局は、従来の郵便局から久代・伊丹に通じる道路（※県道尼崎池田線）を約30メートル南寄り」と記述されています。現在「すし半」がある場所です。川西郵便局はさらに移転・新築され、現在では栄町にあります。



絵馬に描かれた建物のうち、唯一正体がわからないのがこの「北撮会社」です。屋根の形から工場ではないかと考えられますがよく分かりません。ご存じの方は教えてください。



川西能勢口駅の東口を出た先に神戸銀行の川西支店がありました。昭和30年代の写真に建物がちらっと写っています。神戸銀行はその後、太陽神戸銀行→太陽神戸三井銀行→さくら銀行→三井住友銀行と名称を変えました。ここには現在、三角形のKSKビル（1989(H1)年築）が建っています。



呉服橋の西詰にあった川西座は、設立年次は不詳ですが、おそらく大正末期～昭和初期に開設されたようです。当時は隣接の池田町から呉服橋を渡り能勢口にかけての呉服橋本通り（現在の旧国道176号）が商業の中心地でした。昭和30年代には道路を挟んだ南側に「新町映劇」という映画館もオープンしました。この

絵には「松竹東映封切場」「松竹 / 北撮封切場 / 東映」と描かれています。成人向け映画の上映を経て、1986(S61)年に閉館となり、今は阪神高速道路の高架が建っています。